

令和元年第2回大仙市議会定例会

市 政 報 告

令和元年5月28日

大仙市長 老 松 博 行

令和元年第2回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

新天皇陛下が5月1日に即位され、「令和」という新たな時代が幕を開けました。悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然など、日本の良き国柄を次の時代へと継承するとともに、厳しい寒さの後にも見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日への希望を胸にそれぞれの花を大きく咲かせる、そうした願いが込められております。本市におきましても、今年度は大仙市誕生15周年を迎える記念すべき年であり、この新たな時代の幕開けを契機に、本市が次なるステージへと希望の花を大きく咲かせることができるよう、「明日の大仙を拓く新たなチャレンジ」をさらに進めてまいりたいと、思いを新たにしているところであります。

この「令和」のはじまりにあたり、今、新たなチャレンジとして取り組もうとしておりますのが「農業と食に関する活性化基本構想」であります。この構想は、本市の強みである農産物、農産加工品、地酒、発酵食品などといった地域資源を最大限に活用し、大仙市全体が活気づく、裾野の広い産業振興策として展開するものであります。5月13日には、1回目となる策定委員会を開催、秋田県立大学生物資源科学部

ながはま けんいちろう

長濱 健一郎教授をはじめ、農業、商工業、観光、金融など各分野の有識者の皆様に委員をお願いし、意見交換を行っております。今後、マーケティング分析、地域資源調査等をもとに委員の皆様からご意見を頂戴しながら、実効性のある構想を今年度中に策定し、来年度から具体的な取組をスタートさせたいと考えております。

この構想に先駆けて取り組んでいる「いぶりがっこ産地化事業」については、市内生産者をはじめ、秋田県立大学、秋田県総合食品研究センターなどのご協力をいただきながら夏大根の試験栽培に着手しており、4品種の生育を調査するとともに、いぶしや漬け込みの加工適正等について研究を進めております。また、5月8日には、農林水産省において、「地理的表示保護制度」いわゆるG I制度に、いぶりがっこを登録したという発表がなされており、これを好機と捉え、本市の産地化の追い風にしたいと考えております。

次に、「大仙市花火産業構想」についてであります。

「花火産業構想」につきましては、第Ⅰ期構想が昨年度で終期を迎え、本年度から5カ年を計画期間とする第Ⅱ期構想がスタートいたしました。第Ⅰ期構想と同様、着実な施策の推進を図り、「農業と食に関する活性化基本構想」とあわせ、本市産業の振興と地域の活性化に結びつけてまいりたいと考えております。

本構想により取組を進めている花火用マツ炭の生産については、現在、大仙市観光物産協会及び株式会社花火創造企業により順調に進められており、3月23日に開催した「大曲の花火・冬の章 新作花火コレクション」のインターバル花火にも使用されております。今後、このマツ炭の普及を図るため、花火製造業者への試供品の配布等、積極的な販売促進活動が行われることとなっております。

「四季の花火」として位置づけている「大曲の花火・春の章」については、「世界の花火 ^{にっぽん} 日本の花火」をテーマに、5月11日、雄物川河川敷で盛大に開催され、約8千発の花火が春の夜空を煌びやかに飾りました。フランスの花火業者と日本トップクラスの花火師との競演や、日本の花火技術が凝縮された10号割物の打ち上げなど、夏の大会とは趣が異なる「大曲の花火」の素晴らしさを国の内外に発信できたものと思っております。

昨年^の全国花火競技大会にあわせて試験的に実施した「イベント民泊事業」については、利用された皆様から好評を得ており、今年度は宿泊件数を20軒100人程度、宿泊日数を最大2泊3日に拡充することとしております。5月14日から市内にある一戸建て住宅の提供者を募り、6月下旬から宿泊者の募集を行うこととしております。今後も、関係団体と連携を図りながら、さらなる拡大に向けて取り組んでまいります。

こうした地域の活性化に向けた取組のほかにも、「令和」という新たな時代のはじまりにあわせ、市の組織体制の改編を行っております。

組織機構については、4月から移住に関する相談を総合的に受け付ける「移住・定住総合支援室」をはじめ、「子育て世代包括支援室」や「保険年金課」、「観光課」、「交流課」を新設したほか、体制強化や事務の効率化を図るため、課の再編や名称変更を行っております。

総合窓口の整備については、来庁された皆様の利便性の向上を図るため、本庁舎1階にある市民課に総合案内窓口を設置しております。これにあわせ、正面玄関にある左右の壁の一部撤去及び通路部分を拡大したほか、新たに福祉事務所総合相談窓口を子ども支援課側に設置しております。今後も市民目線に立ったサービスの向上に努めるとともに、重点施策の着実な推進や事務の効率化の観点から、その時々的情勢にあわせた組織づくりを柔軟かつ積極的に進めてまいります。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

職員採用試験については、主に民間企業で利用されている総合適性検査、通称「SPI3」を導入し、5月10日に大学卒業程度の申込み受付を終了しております。25人程度の採用予定に対し、昨年比べて100人多い192人から申込みをいただいております。6月4日まで

の間に全国で開設されているテストセンターで一次試験を行い、2次試験を経て7月23日に合格発表を予定しております。

また、短大・高卒程度の採用試験については、10人程度の採用を予定しており、試験日程や募集要件などの詳細を7月1日発行の市広報及び市ホームページで公表することとしております。

行政改革については、「第3次大仙市行政改革大綱」が計画期間の最終年度を迎えており、市民目線に立った新たな大綱を策定するため、4月25日に関係課長12名で構成する幹事会及び職員47名で構成する行革推進チームの合同会議を開催しております。今後は、市民の皆様、議員各位のご意見を伺いながら、来年3月の策定に向けて作業を進めてまいります。

次に、企画部関係についてであります。

ふるさと納税については、昨年度、地場産の返礼品の充実や納税サイトの追加を行った結果、平成30年度の寄附額が4月末現在で約8,360万円にのぼり、前年度と比較して5千万円以上の増加となっております。6月1日には新たな制度に移行いたしますが、今後も定められた基準の中で、多くの皆様から大仙市を応援いただけるよう引き続き取組を進めてまいります。

本県出身のシンガーソングライター^{たかはしゆう}高橋優氏が主催する「秋田キャラ

バンミュージックフェス2019」については、9月14日と15日の両日、サン・スポーツランド協和野球場を会場に開催されることが決定しております。このミュージックフェスには、毎回、全国各地から多くのファンが訪れており、本市の魅力を発信する絶好の機会と捉えております。これを踏まえ、観光スポットの紹介や特産品の販売、アトラクションの実施など、商工団体、観光物産協会等と連携したPR活動を積極的に行うため、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

新たな移住推進の取組として大曲地域四ツ屋地区に整備する「魅力体験住宅」については、6月15日にオープンを予定しております。移住希望者やフィールドワークを行う学生などの宿泊場所として活用していただくこととしており、四ツ屋地区コミュニティ会議の皆様と連携を図りながら受入体制を整備し、移住につながる体験の場を提供してまいります。

「シティープロモーション戦略」については、本市の魅力や大仙市らしさを市民の皆様とともに発見し、広く発信していくための取組として「あなたの撮っておき、ください！」事業を実施しております。また、本市が有する各地域の文化財、祭り、温泉、酒蔵、商店街、小正月行事などの地域資源を巡り、その魅力を多くの皆様に伝える新たな取組として、スマートフォンを活用したデジタル・スタンプラリー事業を企画したところであり、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

高齢者支援については、「社会福祉法人 あげぼの会」が地域密着型特別養護老人ホームの整備を、「株式会社 虹の街」が看護小規模多機能型居宅介護事業所の開設をそれぞれ計画しており、県の補助金を活用した財政支援を行うため、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

障がい者支援については、「特定非営利活動法人 障がい者自立支援センター ほっと大仙」及び「社会福祉法人 水交会」がそれぞれ共同生活援助及び短期入所事業所の開設を計画しており、国の社会福祉施設等整備費補助金とあわせて市も財政支援を行うため、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

子育て支援については、4月に「社会福祉法人 大曲保育会」が大曲中央保育園及び大曲南幼稚園を統合した「大曲中央こども園」と、「四ツ屋こども園」の2園を幼保連携型認定こども園として開設しております。今後も保育ニーズにあわせた取組を支援するとともに、保育士の確保や待機児童の解消に努めてまいります。

次に、農林部関係についてであります。

水田の春作業については、4月以降、比較的温暖な天候が続いたことから、5月24日に田植え作業の盛期を迎え、概ね終了しております。今後の生育が順調に進むよう、県や関係団体と連携して肥培管理の徹底

を呼びかけてまいります。

「大豆産地化推進事業」については、6月上旬からの播種作業に向けて耕起作業が概ね終了しており、現在、個々の農家から提出された本年度の営農計画書を取りまとめております。大豆の栽培面積は、昨年度より17ヘクタール増加し、1,215ヘクタールとなる見通しであり、関係機関と連携して収量及び品質向上への取組を推進してまいります。

林業振興と森林資源の適切な管理を目的に創設された「森林経営管理制度」については、4月から運用がスタートしております。市を介して経営に適した森林を意欲と能力のある林業経営者につなぐとともに、経営に適さない森林は市が管理する内容であり、今般、当該制度の運用にあたり未整備森林の所有者に対する意向調査を行うため、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、経済産業部関係についてであります。

ハローワーク大曲管内における3月に卒業した高校生の就職状況については、求職者315人全員が就職し、就職率は100パーセントとなっております。このうち県内就職者は232人で全体の73.7パーセントとなっており、県平均よりも6.3ポイント高い状況となっております。今後は、6月3日に高校などの学校長、経済団体の代表者、行政関係者が一堂に会する交流会議で若者の県内就職をさらに推進するとと

もに、4月に商工団体など関係7団体で設立した「大仙市雇用創造協議会」による企業支援や人材育成などを通じて、地元雇用の確保に努めてまいります。

「創業支援事業」については、市内で新たに創業、又は新分野に進出する事業者に対し、取組に要する経費や新規雇用に要する費用の一部を助成しており、昨年度は制度創設以来最多となる13件が採択となっております。このうち県外からの移住が4件であり、創業と移住双方に効果が現れております。今後も本制度を通じ、移住施策と連携を図りながら、産業振興に努めてまいります。

新たな工業団地の整備については、平成29年度の適地調査に基づき、昨年度は地形測量を行っておりますが、5月31日に佐藤副市長を総括とするプロジェクトチームを設置する予定としており、早期の整備に向けて全庁体制で取り組んでまいります。

国際交流については、4月8日に、大曲青年会議所と台湾^{しんぺいし}新北市の^{ちゅうわこくさいせいねんしょうかい}中和国際青年商會との姉妹協定締結30周年記念行事が本市において開催されております。市では、この交流の盛り上がりを機に新北市及び新北市中和区との結びつきを深め、交流をさらに促進させるための基本合意に向けた協議を進めており、今次定例会に関係予算の補正をお願いしております。

次に、建設部関係についてであります。

国の雄物川中流部河川改修事業に伴う協和地域の「岩瀬・湯野沢地区宅地造成事業」については、今般、各種インフラ整備の実施設計が概ね完了したことから、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

国の社会資本整備総合交付金により実施する「道路の維持・改良、橋りょうの長寿命化、通学路の整備」に関する事業については、今般、当初見込を上回る国費の配分があったことから、さらなる事業の進捗を図るため、今次定例会に予算の補正をお願いしております。道路・橋りょうは市民生活に最も密接した生活基盤でありますので、今後も計画的に整備を進めてまいります。

花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」へのアクセス性と市街地の回遊性向上を図る「(仮称) はなびのこみち小路整備事業」については、丸子川左岸の堤防歩道に係る整備工事の発注を6月上旬に予定しており、年内の完成を目指してまいります。

次に、災害復旧事務所関係についてであります。

平成29年から2カ年にわたり発生した大雨災害に伴う「災害復旧事業」については、被災箇所全体で188カ所、工事費にして19億1千万円となっており、4月末現在で182カ所の工事を発注し、約8割に当たる161カ所で工事が完了しております。残る被災箇所に

については、早期の工事発注を予定しており、本格的な降雪前の12月末までの工事完了を目指してまいります。

次に、教育委員会の教育指導部関係についてであります。

中仙地域の学校統合については、保護者、地域住民、学校関係者で構成する「中仙地域学校再編素案検討委員会」を設置し、統合に向けたご提言をいただいております。今般、基本方針を取りまとめております。中学校再編については、豊成中学校を中仙中学校に編入し、中仙中学校の校舎の活用を考えており、小学校再編については、豊川小学校と豊岡小学校の統合による新たな小学校を設置することとし、豊川小学校の校舎の活用を考えております。将来的には同地域の全小学校の統合を検討しておりますが、複式学級の心配がない中仙小学校及び清水小学校については、当分の間、現状を維持してまいりたいと考えております。

この基本方針をもとに同地域の3カ所で住民説明会を開催しておりますが、統合に関する前向きなご意見を頂戴するなど、地域の皆様から一定の理解をいただいたものと受け止めております。

今後は、常任委員会等で議員各位にご協議をいただき、9月の定例会に関連する条例の改正案を提案する予定としており、令和3年4月の開校に向けて作業を進めてまいりたいと考えております。

次に、教育委員会の生涯学習部関係についてであります。

「（仮称）大綱交流館整備事業」については、昨年度に実施設計を終え、現在、建設工事の発注準備を進めており、今次定例会に工事請負契約の締結に係る単行案を追加提案する予定としております。

大型連休期間中の花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」の利用状況については、花火資料館エリアの閉館時刻を午後4時から7時に延長した結果、延べ2,324人の方々から来館いただいております。また、この連休にあわせ、新たな試みとして、かねてより多くの要望があった物産販売を大仙市観光物産協会のご協力のもと初めて実施したほか、はなびシアターにおいては、昨年为全国花火競技大会のダイジェスト版及び打ち上げ会場の様子を撮影した「夜空の喝采」を新規映像として上映し、好評をいただいております。

次に、上下水道局関係についてであります。

本市における安全・安心な水道水の安定供給と維持を図るための基本的な方策を示す「大仙市新水道ビジョン」を本年3月に策定しております。水道は市民生活において最も重要なライフラインのひとつであり、次世代に引き継がなければならない重要なインフラであります。今後、本年度から10カ年を計画期間とする新ビジョンに基づき、将来を見据えた安全で持続可能な水道事業を展開してまいります。

最後に、平成30年度の一般会計、特別会計及び企業会計の決算概況について申し上げます。

一般会計については、国の補正予算で採択された事業や災害復旧事業など、翌年度へ繰り越す事業の財源を除いた実質収支が、約11億円の黒字決算となる見込みであります。様々な財政需要に対する本市の取組が評価され特別交付税に反映されたほか、除雪関連経費が抑制されたことなどにより、黒字額が増加しております。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする特別会計については、全てにおいて実質収支がゼロまたは黒字であり、企業会計の収益的収支における純利益は、市立大曲病院事業会計で約2,700万円、水道事業会計で約2億1,000万円、簡易水道事業会計で約6,000万円、下水道事業会計で約6億3,000万円となる見込みであります。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、これまで申し上げた以外のものについては、別添のとおりご報告させていただきます。

今後とも市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。市政報告とさせていただきます。

別添

令和元年第2回大仙市議会定例会
市政報告

市長報告以外の諸般の報告

令和元年5月28日

大 仙 市

目 次

【市民部】	
1	消費者講演会について 2
【健康福祉部】	
2	大仙市遺族連合会青年部の結成について 2
3	成人保健事業について 2
【農林部】	
4	園芸メガ団地のトマト栽培について 2
5	先端技術を活用した「スマート農業」について 2
6	サケ稚魚の放流式について 3
7	クマの出没状況について 3
【経済産業部】	
8	クルーズ船寄港による「大曲の花火」の打上等について 3
9	「座間市大凧まつり」について 3
【建設部】	
10	建設部に係る国、県関係事業について 3
【支所等】	
11	「余目公園観桜会・余目さくら花火観賞会」について 4
12	「なかせん桜まつり」について 4
13	「第10回協和さくら祭り」について 4
14	「第7回南外おらほの桜まつり」について 4
15	「払田真山公園観桜会」について 5
16	「第6回太田黄桜まつり」について 5
【教育委員会 教育指導部】	
17	「大仙ふるさと博士育成」事業について 5
【教育委員会 生涯学習部】	
18	第3次大仙市スポーツ推進計画について 5
19	「旧池田氏庭園」並びに「旧本郷家住宅」について 5
20	「MUSIC FESTIVAL DAISEN '19大音郷」について... 5
21	鈴木空如模写「法隆寺金堂壁画」展について 6

【市民部】

1 消費者講演会について

5月23日、大曲交流センターを会場に、大曲消費者協会、各地域婦人会、食生活推進協議会の皆様など多くの方々が参加し、料理研究家の瀬田川千秋氏を講師に迎え「キッチンからはじまるエシカル消費」と題した講演や、大仙市消費生活推進員及び職員による契約トラブルへの注意を呼びかける寸劇を行いました。

【健康福祉部】

2 大仙市遺族連合会青年部の結成について

3月24日に神岡農村環境改善センターにおいて、戦没者の家族及び関係者40名が出席し結成式が挙行されました。

青年部には戦没者の孫を中心に33名が加入され、今後は、戦争の記憶を風化させることなく、英霊を顕彰し、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世へ継承する活動が行われます。

3 成人保健事業について

各種がん検診が5月から始まっています。今後、受診率の向上を図るため、コールリコール事業を実施するなど、受診勧奨に取り組んでいきます。

また、自らの健康増進と地域の健康づくり活動に寄与する人材を育成するため、新たに「健康づくりマイスター養成講座」を開催する予定であり、5月に参加者の募集を行いました。

【農林部】

4 園芸メガ団地のトマト栽培について

本格栽培4年目を迎え、5月7日に1回目の定植作業を終え、2回目の作業を6月5日に予定しています。労力の平準化を図りながら7月の初出荷に向けて本年度の栽培が開始されました。

また、本年度から営農主体に新たな市内の農業法人や農業者が加わり、ハウス数棟を活用したミニトマトや促成アスパラガス等の栽培が試行的に開催されております。

5 先端技術を活用した「スマート農業」について

東北農業研究センターと県、協和地域の「農事組合法人たねっこ」、農機具メーカーが連携し、大規模な水稻、大豆の輪作による生産性

向上の効果を検証する計画が国の事業に採択されました。GPSを活用した自動操舵トラクターによる耕起・代かき作業や直進アシストによる田植作業の精密化等の実証が始まっています。

今後は、ドローンによる生育診断やラジコン作業機による草刈り作業、水稻・大豆へのコンバインの汎用利用によるコスト縮減などの検証も予定されています。

6 サケ稚魚の放流式について

4月11日に花館小学校、四ツ屋小学校、内小友小学校、神岡小学校の児童143人が参加し玉川橋下流で行いました。また、鮭資源等確保活用事業により約230万匹のサケ稚魚を放流し、鮭資源の安定的な確保に取り組んでいます。

7 クマの出没状況について

5月22日現在、市内でクマの目撃情報が6件寄せられており、今後、クマの活動が活発になると見込まれるため、引き続き市民の皆さんに注意喚起などを行っていきます。

【経済産業部】

8 クルーズ船寄港による「大曲の花火」の打上等について

4月17日、22日の両日、訪日外国人を含めたクルーズ船客の取り込みを目的に、秋田港で「大曲の花火」の打上や観光PRを行い、誘客を図りました。

9 「座間市大風まつり」について

友好交流都市である神奈川県座間市の大風まつりが5月4日、5日の両日に開催され、本市から西山副市長、茂木議長のほか、物産中仙株式会社の社員などあわせて9名が参加しました。開会式で「大曲の花火・昼花火スターサイン」を打ち上げたほか、「大曲の花火」の映像を用いた観光PRや特産品の販売を行いました。

【建設部】

10 建設部に係る国、県関係事業について

・雄物川中流部河川改修事業について

雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業として、神岡地域の間倉地区、西仙北地域の強首地区及び寺館・大巻地区、協和地域の中村・

芦沢地区及び岩瀬・湯野沢地区の築堤等工事を引き続き実施する予定と伺っております。

・ **道路関係事業について**

新たに協和地域の国道46号稲沢地区の稲沢歩道整備に係る調査設計の実施に加え、昨年度に引き続き、同地域国道46号荒川地区の線形改良事業を実施すると伺っております。

・ **県関係事業について**

淀川、土買川、檜岡川及び福部内川に係る河川災害関連工事として築堤等工事を引き続き実施すると伺っております。

【支所等】

11 「余目公園観桜会・余目さくら花火観賞会」について

4月21日から5月5日まで、大曲地域内小友地区の余目公園を会場に観桜会が開催されました。期間中の4月27日には、「余目さくら花火観賞会」が開催され、約1千発の花火の打上や歌謡ショーのイベントが行われるなど、多くの来場者で賑わいました。

12 「なかせん桜まつり」について

4月20日から5月6日まで、八乙女公園、斉内川河川敷、桜アーチ街道、道の駅なかせんで開催されました。4月29日には、道の駅なかせんを会場にイベントが行われ、多くの皆さんに楽しんでいただきました。

13 「第10回協和さくら祭り」について

4月26日、28日の両日、「道の駅 協和」を会場に、地元小・中学校の吹奏楽部による演奏や各種イベントが行われたほか、隣接する米ヶ森公園ではグラウンドゴルフ大会が開催されました。

14 「第7回南外おらほの桜まつり」について

4月21日、南外ふれあいパークを会場に開催し、地域の関係団体の協力を得て芸能ステージ発表や出店などが行われ、多くの皆さんで賑わいました。

また、4月20日から5月6日までの間、夜桜を満喫していただくため、桜のライトアップが行われました。

15 「弘田真山公園観桜会」について

4月19日から25日まで、弘田真山公園を会場に開催され、午後9時まで桜のライトアップを行ったほか、20日には、芸能発表や子どもから大人まで楽しめるイベントなどが行われました。

16 「第6回太田黄桜まつり」について

5月3日、大台スキー場を会場に開催され、動物ふれあい体験やツリークライミング、ウォーキングなどのイベントにより、多くの皆さんで賑わいました。

【教育委員会 教育指導部】

17 「大仙ふるさと博士育成」事業について

これまでの「ふるさと探訪『ポケットブック』」に加え、「ふるさと探訪『ポケットマップ』」を12,000部作成し、市内の小学3年生から中学3年生までの児童生徒及び関係機関に配布しました。

【教育委員会 生涯学習部】

18 第3次大仙市スポーツ推進計画について

本年度から令和5年度までの5カ年を計画期間とする第3次計画を3月に策定し、市民の皆さんが健康で生き生きとした生活を送ることができる豊かな生涯スポーツ社会の実現に向けて取組を進めております。

19 「旧池田氏庭園」並びに「旧本郷家住宅」について

4月27日から常時公開しており、大型連休期間中には、旧池田氏庭園1,289人、旧本郷家住宅726人の皆さんからご来場いただきました。今後も市内観光施設等と連携した周遊コースの開発や情報発信に努めるなど、誘客に向けた取組を進めていきます。

20 「MUSIC FESTIVAL DAISEN '19大音郷」について

5月26日、大曲市民会館を会場に、本市出身歌手やこれまで本市の音楽イベントに参加するなど、本市に縁のあるアーティストなどが出演し、音楽文化発信型イベントとして開催しました。

21 鈴木空如模写「法隆寺金堂壁画」展について

5月24日から6月9日まで、太田文化プラザで2年ぶりに開催しており、昨年11月に箱根鈴木家から本市に寄贈された2分の1のレプリカなどの作品を展示しています。